

### 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	思春期特発性側弯症の立位全脊椎レントゲンにおいて水平線に近似する基軸は？		
② 研究期間	学長許可日（2024年3月14日）から 2024年12月31日		
③ 対象患者	対象期間内に思春期特発性側弯症のため全脊椎レントゲンが施行された症例		
④ 対象期間	2007年8月1日から2021年7月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学 整形外科学教室		
⑥ 研究責任者	氏名	池尻 正樹	所属 整形外科学教室
⑦ 使用する試料・情報等	研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より収集する。 ①当院にて施行された立位全脊椎レントゲンの画像所見 ②年齢、性別、Cobb角		
⑧ 研究の概要	思春期特発性側弯症とは、思春期に生じる脊椎の変形を伴う疾患です。骨が成長している間は脊椎の変形が進む可能性も高く定期的なレントゲン検査での経過観察が必要になります。また、手術では矯正が必要な脊椎を固定します。当院では手術を行う患者さんにはサイドベンド撮影とフルクラムベンド撮影という特殊なレントゲン撮影をして脊椎の変形の柔軟性を評価し術前の計画（手術の範囲など）をたてています。特殊なレントゲン撮影は寝ている姿勢で検査するため得られた画像では地面との水平はわかりません。 水平線は術前計画を立てるうえで重要な基準線となります。今回は立位全脊椎レントゲン画像を用いて最も水平線に近似する基軸となる線を統計学的手法を用いて明らかにします。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年 5月 6日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		

⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 整形外科 担当者：池尻 正樹			
	電話	0744-22-3051	FAX	0744-22-4121
	Mail	K162213@naramed-u.ac.jp		
⑭ 研究の資金源	研究資金の提供はありません。			
⑮ 利益相反	特定の企業・団体等からの支援を得て実施するものではありません。			